

# 本と。

## 語り合い①

宇宙の本をたくさん手がけてきた編集者と  
妖怪の本をいっぱいつくってきたデザイナーが、  
本をつくる喜びとデザインする愉しさを語り合います。



ゲストトーク：佐藤大器（さとうだいき／出版社編集者）  
企画＆トーク：妹尾浩也（せのおひろや／グラフィックアート・デザイナー、書籍装丁家）

# 宇宙、妖怪 本づくり



『江戸妖怪かるた』より  
「した出し小僧のとうふなめ  
(1998年 国書刊行会)」

本はどのようにできてる？ だれがどうつくってる？ 編集、翻訳、イラスト、製本、印刷って？  
などなど？？がいっぱい。ブックデザイナーとして35年、これまでいろいろなテーマ&ジャンル  
で1000冊ぐらいの本をつくってきました。  
その間の30年を多摩市に住み、子育てやまちづくりなどをとおして、たくさんの方の市民や行政  
職員のみなさんと一緒にいろいろな活動もしてきました。その活動のキーワードは、  
「わたしたちの手で、まち・社会・未来（＝平和）をデザインする」  
「価値観を共有する」ではなく、共有できる価値観をその人と発見しカタチにする」です。

2026  
3/22(日)  
13:30~15:30

会場：多摩市立中央図書館2階サテライトカウンター前  
申込不要・当日自由参加

- ◆蓋付きの飲み物は、館内どこでもお飲みいただけます
- ◆オープンスペースで、ご自由にご覧いただけます

問合せ：042-373-7955（多摩市立中央図書館）  
<https://www.library.tama.tokyo.jp/contents?0&pid=329>

◆第一・第三木曜日は休館。電話による問合せは平日9:30～17:00まで



【せのおひろやプロフィール】1961年仙台市生まれ。'84年武蔵野美術大学卒業後、フリーランスのグラフィックデザイナー。'90年渡欧、イギリス、スペイン、メキシコなど各地で制作活動。'92年帰国後、書籍装幀・デザイン・出版に従事。グラフィックアート・イオル主宰、1995年より多摩市在住。NPO法人多摩住民自治研究所副理事長・機関紙編集長歴任。市民活動&ソーシャルデザインワーク多数実践中。

graphic art iwor e-mail: iworseno@icloud.com



『国芳妖怪百景』(1999年 国書刊行会)